



我が社の“エンスー”、模型を極める達人

～ ジェコー(株) ～

～空に憧れて、無線操縦歴46年の小林正幸さん～

「長靴を履いて、短パンを履き風呂敷を首に結んで、田んぼ道を走って遊んでいた子供の頃、正にそれは空を飛んでいる気分だった。夢の中では、駆け足で元気良く大地を一蹴りすると、超低空飛行で家の周りを自由自在に、飽きる事無く飛んでいた。小さな頃からの空への憧れは、今も変わっていない。」童心の様に無邪気に話してくれたのは、当社生産技術グループの小林さん。

彼と模型との出会いは、今から49年程前。近くのガキ大将と仲間達で作って飛ばしたゴム動力機だった。勿論うまく飛ばず直ぐに壊してしまい、皆で「あぁじゃない、こうじゃない」と夢中になって修理し、長い時間飛んだ時の嬉しさは「天にも昇る気分」だったと話が尽きない。



【小林さんの自宅作業場】

無線操縦歴46年になる彼は、今年、ラジコン模型専門誌「RCエアーワールド」に、“エンスー”として紹介された。経験から得たノウハウと、妥協を許さない製作姿勢。模型への思いを、釣師の言葉では「釣りは、ヘラに始まりヘラに終わる」と言うように、自分は「グライダーに始まりグライダーに終わると言う程のグライダー好きだ」と語っている。

そんな彼は、埼玉県妻沼滑空場に於いて開催される、実機による全日本大学生グライダー競技選手権でのデモフライト、埼玉県鴻巣市主催のコスモス祭り、ポピー祭り、などイベントでのフライト依頼に答えている。そのフライトテクニックの高さは、想像できる。

今年は、群馬県太田市尾島で5万人以上の観客を集め開催される、国内最大のラジコンイベント「RC航空ページェント」への出場。更なる飛躍が期待される。

社内に於いて、ジェコー・ラジコン愛好会を立ち上げ、仲間達と「その道」を楽しんでいる小林さん。今後も多くの人達へ「極める」素晴らしさを伝えて行く事に違いない。

そんな達人だが、本人は高所恐怖症。飛行機には絶対に乗れないとの事……。



【ジェコー・ラジコン愛好会のメンバー】

※エンスー : Enthusiast(エンスージアスト) 熱心に興味を持ち、熱心に楽しむ愛好家